

名駅東地区 地域冷暖房 様

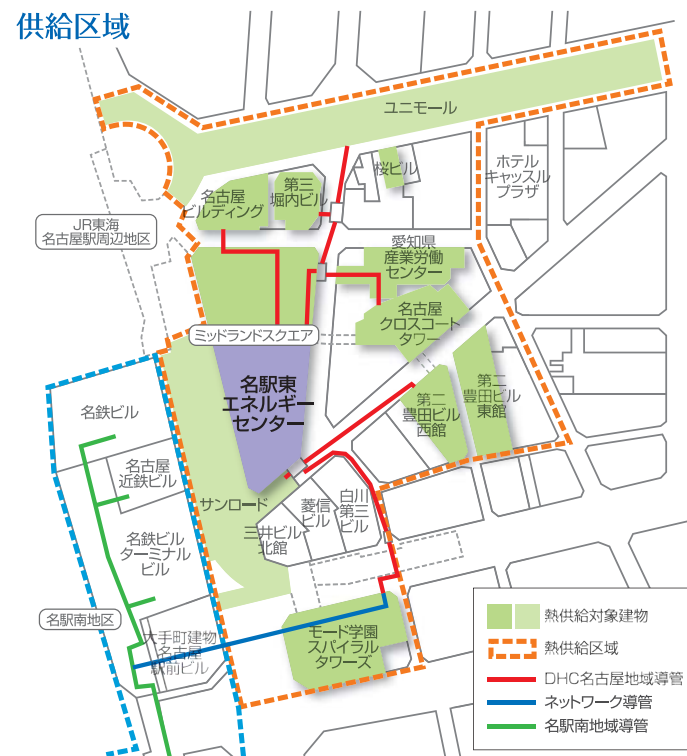
取材・撮影、画像ご提供、ご協力:
DHC名古屋株式会社
名駅東エネルギーセンター 様

名古屋駅前に新しく完成した超高層ビル「ミッドランドスクエア」。

DHC名古屋株式会社様は、その地下5階のエネルギーセンターからこの建物と、周辺の地下街・建物に冷暖房を供給しています。

中部地区の表玄関、名古屋駅前にふさわしい快適空間を創り、環境性と省エネルギー性に優れた地域冷暖房としてCO₂の発生やヒートアイランド化の防止に貢献しています。

- 所在地 名古屋市中村区名駅4-7-1
- 供給地 名古屋市中村区ミッドランドスクエア周辺
- 供給区域積 9.6 ha
- 対象建物延床面積 約392,000m²
- 供給開始 2006年10月
- エネルギーセンター ミッドランドスクエアB5F



名古屋の新しいシンボル「ミッドランドスクエア」を中心とした地域冷暖房に 合計5,700RTの当社吸収 冷凍機が大活躍

名古屋の表玄関 新たな商業・ビジネス街の地域冷暖房



DHC名古屋株式会社様では、名駅東地区地域冷暖房のシステムの基本コンセプトとして、3つのチャレンジを掲げています。排熱の利用やエネルギーロスを最小限にするしくみでこれらに取り組んでいます。

**コスト
ミニマム**
最も低廉な
熱料金単価

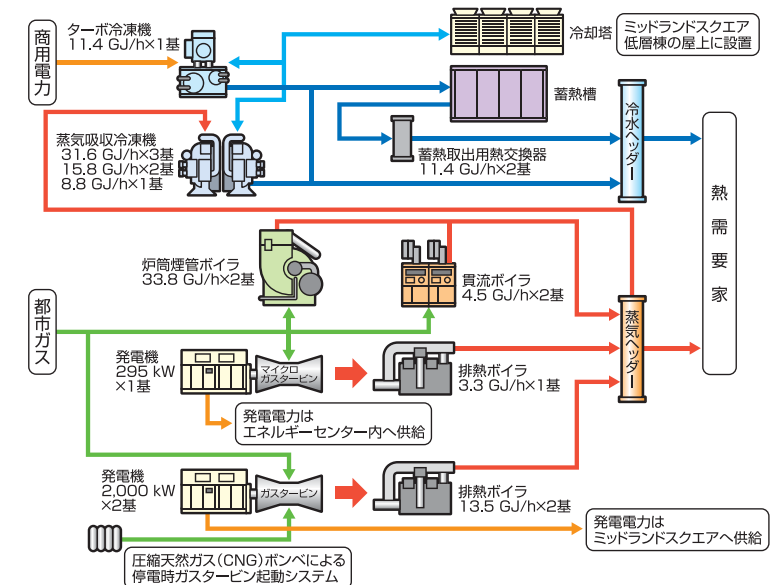
**CO₂
ミニマム**
CO₂の発生を
最小限に留める

**CS
マキシマム**
顧客の満足度を
最大とする

コージェネとの組み合わせにより省エネと経済性の両立を実現

名駅東エネルギーセンター システム図

都市ガス熱源の蒸気ボイラとガスタービンコージェネレーションの採用により、高いエネルギー効率と経済性向上の両立を図っています。特にガスタービンコージェネレーションは大小二種類の組み合わせにより、幅広い熱負荷の変動への対応を可能としています。また水蓄熱システムを導入し、夜間電力使用による電力負荷平準化を図っています。地域導管は、冷熱媒と温熱媒を独立させた4管方式を採用しています。



ミッドランドスクエア地下5階のエネルギーセンターには、地域冷暖房のエネルギー供給の熱源設備として、コージェネレーションシステム、蒸気ボイラー、冷凍機が配置され、当社の大型吸収冷凍機4基(合計5,700RT相当)も名駅東地区地域冷暖房の一翼を担っています。ガスタービンコージェネレーションからの排熱蒸気とボイラーからの蒸気を熱源とし、広域な地域冷暖房システムの設備の一部として、エネルギーの有効活用と、無駄のない社会づくりに大きく貢献しています。

- 納入機器 蒸気二重効用吸収冷凍機
JW-HE800ES×1基、TW-HE1350ES×2基
TW-HE2700ES×1基(TW-HE1350ESのツイン機)
- 保守担当 中部支店ファシリティソリューショングループ
- 販売担当 中部支店ビルシステムグループ